

平成二十三年 度

宮崎県文化講座研究紀要

第三十八輯

宮崎県立図書館

序 文

宮崎県立図書館主催の「宮崎県文化講座」は、地域文化の向上を目指して、昭和四十九年度の開設以来「宮崎県地方史講座」として実施してきましたが、平成十九年度に「宮崎県文化講座」と改称し、現在に至っております。

本年度は福田泰典氏「新名爪とその周辺」、小林美紀氏「アーカイヴに見る瑛九」、高谷精二氏「チャレンジする宮崎の応用地質」、米澤英昭氏「都城領主の日常」の計四回を開催いたしました。いずれも地域の歴史、人物、自然をテーマに採りあげたもので、多くの方々に受講していただきました。本研究紀要は、これら講座の内容をもとに、講師の皆様が執筆していただいたものです。本年度で第三十八輯となりますが、これまで県内外の様々な分野で活用され、本県の文化向上に寄与し続けたことは誠に喜ばしい限りです。

昨年三月十一日の東日本大震災は、我が国に未曾有の被害をもたらし、私たちも新聞等により現状を知るにつれ、悲嘆に暮れる日々でした。しかし、各地から寄せられた復興への熱い思いは絶えることなく、日本国民の諦めない強さ、人々の絆の広がりを感じさせてくれました。いつの時代も人々の心の支えとなるのは、自分自身、そして自分の故郷への誇りであります。本研究紀要が県民の皆様にとりまして、生涯学習の支援となり、故郷の歴史や文化に誇りをもつための礎となりますことを願ってやみません。

最後になりましたが、御寄稿いただきました四名の先生方、講座開講にあたり御協力いただきました関係諸機関に対しまして、厚く御礼申し上げます。

平成二十四年三月

宮崎県立図書館長 高 島 俊 一

目次

一	福田泰典	「新名爪とその周辺」		1
		残された城郭遺構から見えてくるもの		18
二	小林美紀	「アーカイヴに見る瑛九」		21
				40
三	高谷精二	「チャレンジする宮崎の応用地質」		43
				56
四	米澤英昭	「都城領主の日常」		59
				74

宮崎県文化講座研究紀要 第三十八輯

平成二十四年三月三十一日 発行

編集
刊行 宮崎県立図書館

〒八八〇〇〇三

宮崎市船塚三丁目二二〇番地一

〒〇九八五―二九―二九一

印刷
(有) 宮崎出版社

〒八八〇〇九二

宮崎市赤江一六〇一番地一

〒〇九八五―五三―九九二

(非売品)

No.